

令和3年度から使用する中学校用教科用図書答申書

教科名 社会（歴史的分野）

番号 観点	発行者略称	教科書番号
取 扱 内 容 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等	東書（東京書籍）	705
排 列 ・ 分 量 等		○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 A 歴史との対話 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号についてのまとめや年表の読み取りから年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、福岡や福井の歴史的な特徴を例に、多面的・多角的に考察したり、テーマ設定などの調査方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 B 近世までの日本とアジア ・「古代までの日本」において、奈良時代では律令国家の形成に着目して、貴族と一般の人々の生活の違いが生じた理由を考察したり、単元のまとめでは「古代日本のキーパーソンは誰だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代では武家政治の成立の影響に着目して、平安時代の仏像と特徴を比較して違いを考察したり、単元のまとめでは「古代との比較から中世の特色を探ろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、織田・豊臣の統一事業に着目して、戦国時代を終わらせた最も重要な政策を考察したり、単元のまとめでは「近世で最も活躍した身分はどれだろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 C 近現代の日本と世界 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の諸改革の目的に着目して、政府のアイヌ民族と琉球民族への対応の相違点を考察したり、単元のまとめでは「日本と世界との結びつきを考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動が取り入れられている。 ・二度の世界大戦の原因と世界と日本に与えた影響に着目して、国民の政治参加が進む一方で戦争が続いた背景を考察したり、単元のまとめでは「戦争へのターニングポイントは何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、戦後の政治の展開と国民生活の変化に着目して、日本復興の象徴となる出来事を考察したり、単元のまとめでは「現代の日本を形作ったものは何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、応仁の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、戦いの様子を描いた複数の時代の資料を比較し、社会の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。
使 用 上 の 配 慮 等		○ 江戸時代の最上徳内、近藤重蔵、間宮林蔵らの北方探検の地図を掲載して、その行程を紹介したり、「アイヌ文化とその継承」として、儀式や神話、生活の様子などの資料を掲載して、13世紀以降のアイヌ文化の成立と展開、アイヌ文化継承の動きを説明したりするなど、生徒の学習意欲を高めるような特色が見られる。 ○ 「チェック」で、一単位時間の学習の終わりに基礎事項を確認する活動や、「トライ」で、要約や説明により学習課題を解決する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような特色が見られる。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
そ の 他		※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

令和3年度から使用する中学校用教科用図書 の 答申書

教科名 社会 (歴史的分野)

番号 観点	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
取 扱 内 容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 A歴史との対話 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化遺産に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、時代区分、年号についてのまとめや年表の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、時期や推移、比較といった視点に着目して、鎌倉や名古屋、川崎の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法や発表方法を示した地域調査の手引きから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 B近世までの日本とアジア ・「古代までの日本」において、奈良時代における中央と地方の誕生という見方から、朝廷による中央集権国家のしくみがどのように広がっていったのかを、中央と地方の関係性と関連付けて考察したり、単元のまとめでは「日本という国がどのように成立し、発展していったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代では文化の変化に着目して、社会の変化との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「古代と比較し、中世はどのような時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動が取り上げられている。 ・「近世の日本」において、元禄文化や化政文化の形成に着目して、共通点や時代背景による相違を考察したり、単元のまとめでは、「江戸時代と前の時代を比較して、近世の特色を説明してみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 C近現代の日本と世界 ・「近代の日本と世界」において、議会政治の展開に着目して、明治政府と民権派の考え方の違いを考察したり、単元のまとめでは「日本が近代化に成功した理由について考えてみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、国際社会における我が国の役割に着目して、平和な世界を築くための取組を考察したり、単元のまとめでは「日本が国際的地位を向上させた要因を説明しよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動	706
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	○ 内容の構成・排列については、「歴史の流れをとらえよう」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような特徴がある。	
使 用 上 の 配 慮 等	○ 江戸時代に函館に来航したペリー艦隊の航路や函館の来航記念碑の写真に掲載して、函館寄港の際のエピソードを紹介したり、アイヌの人たちの言葉や文化について、神話の資料に掲載して、現在までアイヌ文化を継承してきた人々の願いや努力の様子を説明したりするなど、生徒の学習意欲を高めるための特徴が見られる。 ○ 「確認」で、一単位時間の学習内容を振り返って整理する活動や、「表現」で、学習内容を図に表したり、自分の言葉で説明したりする活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような特徴が見られる。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台の情報端末を活用した学習活動として「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。	
そ の 他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。	

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 社会（歴史的分野）

番号	発行者略称	教科書番号
観点	帝国（帝国書院）	707
取扱内容 各学年の学習指導要領の総則及び各教科・内容等	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>A歴史との対話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物や出来事のイラストやマンガ方式を用いるなど、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号についての資料やそれらを示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、地域の偉人を事例として取り上げたり、推移や比較などの視点に着目して、博多や横浜の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、情報の集め方などについて示した「技能をみがく」のコラムから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 <p>B近世までの日本とアジア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「古代までの日本」において、奈良時代では東アジアとの接触や交流に着目して、仏教の伝来とその影響を考察したり、単元のまとめでは「古代の国が成立するために重要なことは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代では諸産業の発達に着目して、文化などの特徴や自他の敬愛に基づく主体的な社会参画への態度を養えるよう考察したり、単元のまとめでは「武士と庶民がそれぞれの結び付きを強めていった目的は何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代では鎖国などの幕府の対外政策に着目して、幕府にとっての鎖国の利点を考察したり、単元のまとめでは「安定した政権が成立するために必要なことは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>C近現代の日本と世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「近代の日本と世界」において、明治時代の近代産業の発展に着目して、農村の人々の生活の変化を考察したり、単元のまとめでは「近代化による、政治や社会の大きな変化とは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本の高度経済成長に着目して、経済や産業、社会や国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「現代の日本社会を形づくる画期となった出来事は何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、元禄文化の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、屏風に描かれた二つの装飾画から共通点を見いだして、文化の特色について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>	
内容の構成・ 排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「私たちと歴史」において、歴史の流れと時代区分について学習したあとに、歴史の調べ方やまとめ方、発表の仕方について学習するなど「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう系統的・発展的に取り組めるよう配慮がなされている。</p>	
使用上の 配慮等	<p>○明治時代の札幌の地図や屯田兵村の写真、北海道の開拓と産業の発展に係る資料を掲載して、北海道や札幌市の近代化の過程を説明したり、アイヌの人たちの生活や文化について、神話や衣食住などの資料を掲載して、独自の文化を築いたことについて説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める配慮がなされている。</p> <p>○「確認しよう」で、一単位時間の学習内容を振り返り、大切な事項を確認する活動や、「説明しよう」で、学習内容を自分の言葉で説明する活動を掲載するなど、主体的に学習ができるような配慮がなされている。</p> <p>○教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用している。また、1人1台の端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載し、使用上の便宜が図られている。</p>	
その他	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>	

令和3年度から使用する中学校用教科用図書 の 答申書

教科名 社会 (歴史的分野)

番号 観点	発行者略称	教科書番号
取 扱 内 容 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 ・ 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等	山 川 (山川出版社)	708
分 量 排 列 構 成 等 の 内 容	○ 内容の構成・配列については、「歴史との対話」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎の時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような配慮がなされている。	
使 用 上 の 配 慮 等	○ 明治時代の札幌の地図やクラークの資料を掲載し、開拓の歴史などから札幌について考える発問があり、アイヌ民族の歴史と文化について、アイヌ民族の首長やイオマンテの様子を描いた絵を掲載し、特徴を示すことで、学習意欲を高めるための配慮がされている。 ○ 「ステップアップ」で、一単位時間の終わりに課題追究する活動や、「歴史を考えよう」で、美術作品や史料で課題を話し合い考察し、「地域からのアプローチ」では奈良や札幌など地域の歴史を様々な活動から考察し、主体的に学習に取り組むことができるような配慮がされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、すべての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを取り入れたりするとともに、1人1台の情報端末を活用した学習活動として、二次元コード(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。	
そ の 他	※中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。	

令和3年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 社会（歴史的分野）

番号 観点	発行者略称	教科書番号
	日文（日本文教出版）	709
取扱内容 各学年の学習指導要領の総則及び各教科・内容等	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>A歴史との対話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史を大きく変えた人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、年号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移、比較、つながりの視点に着目して、奈良や大阪の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、歴史の調べ方について示した「スキルUP」のコラムから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 <p>B近世までの日本とアジア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「古代までの日本」において、奈良時代では古事記や日本書紀に着目して、当時の人々の信仰やものの見方を考察したり、単元のまとめでは「文字の変化に着目して、古代までの特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代では産業が発達していく過程に着目して、民衆の成長を背景とした文化の高まりを考察したり、単元のまとめでは「法に着目して、中世の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の政策や社会の変化に着目して、幕府の改革が成功しなかった理由を考察したり、単元のまとめでは「幕府の収入に着目して、近世の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>C近現代の日本と世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「近代の日本と世界」において、明治政府の富国強兵政策の目的に着目して、近代国家建設を急いだ理由を考察したり、単元のまとめでは「明治政府の政策から、近代の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、経済大国となった日本と諸外国との関係に着目して、世界に与える影響を考察したり、単元のまとめでは「復興と成長の源に着目して、現代の特色にせまろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、承久の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、複数の資料から読み取ったことをもとに、古代から中世への時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>	
内容の構成・ 排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「私たちと歴史」において、歴史の学び方について学習した後、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて習得した知識と関連させながら学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 他分野、他教科、小学校との連携ができる学びとなるように構成されている。</p>	
使用上の 配慮等	<p>○ 北方領土に関する条約や北方領土付近の国境の変化の地図、写真などの資料を掲載して、第二次世界大戦後の日本の取組を説明したり、アイヌ文化について、儀式や神話、国立アイヌ民族博物館などの資料を掲載して、アイヌ文化の伝承について説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「確認」で、一単位時間の学習の理解を確認する活動や、「深めよう」で、資料を読み取る視点を提示し、学習課題の理解を深める活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台の端末を活用した学習活動として、「デジタルマーク」（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>	
その他	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>	

令和3年度から使用する中学校用教科用図書答申書

教科名 社会（歴史的分野）

番号	発行者略称	教科書番号
観点	育鵬社（育鵬社）	710
取 扱 内 容 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>A 歴史との対話</p> <ul style="list-style-type: none">・「私たちと歴史」において、歴史の流れと小学校で学んだ人物や出来事に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、様々な時代区分についてのまとめから年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、大阪や横浜の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、実際の調べ学習を例にした調査の流れから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 <p>B 近世までの日本とアジア</p> <ul style="list-style-type: none">・「古代までの日本」において、飛鳥時代では律令国家の確立に至る過程に着目して、聖徳太子が目指した政治を多彩な資料で示したり、単元のまとめでは「古代の日本と中国の関係がどう変化したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動・「中世の日本」において、鎌倉時代では武家政権の成立や仕組みに着目して、古代の律令政治との違いを考察したり、単元のまとめでは「この時代の人々の暮らしや社会がどうなったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動・「近世の日本」において、江戸幕府の諸政策の目的に着目して、幕府がどのように支配を固めたのかを考察したり、単元のまとめでは「江戸時代の社会はどんな社会だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>C 近現代の日本と世界</p> <ul style="list-style-type: none">・「近代の日本と世界」において、明治時代の外交の展開に着目して、国境が定められた経緯を考察したり、単元のまとめでは「この時代のできごとで最も重要と思うものは何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動・「現代の日本と世界」において、第二次世界大戦後の諸改革に着目して、日本の民主化と再建の過程を考察したり、単元のまとめでは「これからの日本はどんな社会になり何が問題になるのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、江戸幕府による鎖国の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、鎖国を肯定する視点と否定する視点を比較し、鎖国の影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>	
排 列 ・ 分 量 等	<p>○ 内容の構成・排列については、「歴史探検！歴史の流れと先人の活躍」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような配慮がなされている。</p>	
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ アイヌの人たちが行っていた交易に関する資料を掲載して、アイヌの人たちと周辺諸国や地域との関係を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める配慮がなされている。</p> <p>○ 「歴史ビュー」で、本文の内容について多角的な視点から考察する活動や、「このころ世界は」で、各時代の日本の歴史とかかわりの深い外国の動きについてや、出来事について掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような配慮がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーバリアフリーに配慮したりするとともに、1人1台の情報端末を活用した学習活動として、プレゼンテーション用のソフトを活用した発表方法を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>	
そ の 他		

令和3年度から使用する中学校用教科用図書 の 答申書

教科名 社会 (歴史的分野)

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	学び舎 (学び舎)	711
取扱内容 各学年の目標・内容等	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>A 歴史との対話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、歴史の流れを示した表と小学校で学んだ人物や出来事に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や元号、世紀、時代区分などの資料から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、東京の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や発表の方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 <p>B 近世までの日本とアジア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「古代までの日本」において、弥生時代では稲作の広まりに着目して、暮らしや社会の変化を考察したり、単元のまとめでは「人びとの生活や社会のようす、制度や文化はどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代では諸産業の発達に着目して、都市や農村の自治的な仕組みの成立を考察したり、単元のまとめでは「中世はどのような人びとが力をもった時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の政策や社会の変化に着目して、百姓一揆が起こった原因を考察したり、単元のまとめでは「中世との比較から近世・江戸時代の特色を考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>C 近現代の日本と世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「近代の日本と世界」において、議会政治の始まりに着目して、自由民権運動の変化を考察したり、単元のまとめでは「近代はどのような特色をもった時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、サンフランシスコ講和会議の参加国に着目して、第二次世界大戦後の日本の国交の変化を考察したり、単元のまとめでは「時代の変化を絵に表してみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、近世の統一事業の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、織田信長、豊秀吉臣、徳川家康が実施した政策と人々の生活への影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>	
内容の構成・ 排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「歴史と出会う」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような配慮がなされている。</p>	
使用上の 配慮等	<p>○ 江戸時代にアイヌの人々が採集した昆布の行方を課題として提示し、近隣諸国との交易について紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める配慮がなされている。</p> <p>○ 「フォーカス」で、歴史の舞台に焦点を当てて知識を深める活動や、「歴史を体験する」で、学習内容に関わる体験活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような配慮がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮したりするとともに、1人1台の端末を活用した学習活動として、ICTを活用した資料の検索方法を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>	
その他		